



高尾森林ふれあい推進センターでは、多くの方に森林や林業に対する理解を深め、森林に親しんでいただくため、高尾山の国有林を活用して、様々なイベントを行ってまいります。今回は平成30年度の春期の活動を紹介します。

【森林カレッジ】

今年度第1回目の森林カレッジを5月19日に実施しました。参加者は、一般公募し、29名の方に参加いただきました。一般社団法人森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武先生に講師をお願いし、午前中、森林の多面的機能や日本の森林植生のお話、森を守るにはどうすれば良



森林カレッジ（講義）

いのかといったことなど、幅広く丁寧に解説していただきました。

午後は、高尾山に登りながら樹木の特徴や人工林の育て方などについて解説していただきました。当日は天気にも恵まれ、カレッジ生からは、「様々な角度から森林を見ることができた」「今後も林業について学びたい」等の感想をいただきました。森林カレッジは、7月、10月、1月にも開催する予定です。

【森林教室】

教育機関等からの依頼を受けて実施している森林教室は、春期は8回実施しました。4月26日に中央区立佃島小学校5年生115名、5月17日・18日に横浜市立谷本小学校6年生75名、5月22日に八王子市立みなみ野君田小学校5年生121名、6月1日に小平市立小平第二小学校若草学級1〜6年33名、6月4日に横浜市立羽沢小学校5年生84名、6月8日



森林カレッジ（実習）

に八王子市立みなみ野小学校5年生95名、6月13日に東村山市立化成小学校5年生96名、6月14日に横浜市立茅ヶ崎東小学校4年生141名が参加しました。

佃島小学校、みなみ野君田小学校、羽沢小学校、みなみ野小学校、化成小学校、茅ヶ崎東小学校の皆さんは、大平国有林にある森林ふれあい館で、森林や林業について講義を受け、丸太切り、森林散策を体験しました。谷本小学校と小平第二小学校の皆さんは、伏せ焼き・ドラム缶焼きによる竹炭づくりや森林散策、丸太切りを体験しました。森林散策では最初、森林の中に入るのを怖がっていた子供たちも、森林散策後は「楽しかった」「もつと歩きたかった」等の声があちらこちらで聞こえていました。

学校関係のイベントは参加人数が多いため、職員だけでなく、フォレストサポータースタッフ（FSS）のお手伝いをいただ



森林教室（森林散策）

いて対応しています。FSSとは、ボランティアでイベントの実施に協力してもらっている方たちで、今年度は37名の方にお願いしています。FSSの皆さんには、子供達への植物の解説や丸太切りの指導など、森林教室の実施に積極的に関わっていただいています。

【協定イベント】

森林ボランティア団体と協定を締結し、それぞれの団体に創意工夫をこらしたイベントを実施してもらっています。

今年度は、森林インストラクター東京会、森とでんえん倶楽部、DAIGEHコロジーク村、森と人のネットワーク、高尾パークボランティア会の5団体と協定を締結しています。春期は、8回のイベントを実施し、300名を超える方に参加いただきました。今年度は年間40回を超えるイベントを開催する予定です。



協定イベント